

香川県立善通寺第一高等学校

ダンボールコンポストを広めよう



目的 生ごみを肥料にするコンポストを利用することで生ごみの量を減らし、ゴミ処理の時に出る二酸化炭素を減らしたい。

実践者 児玉天陽 大西航生 福家一翔

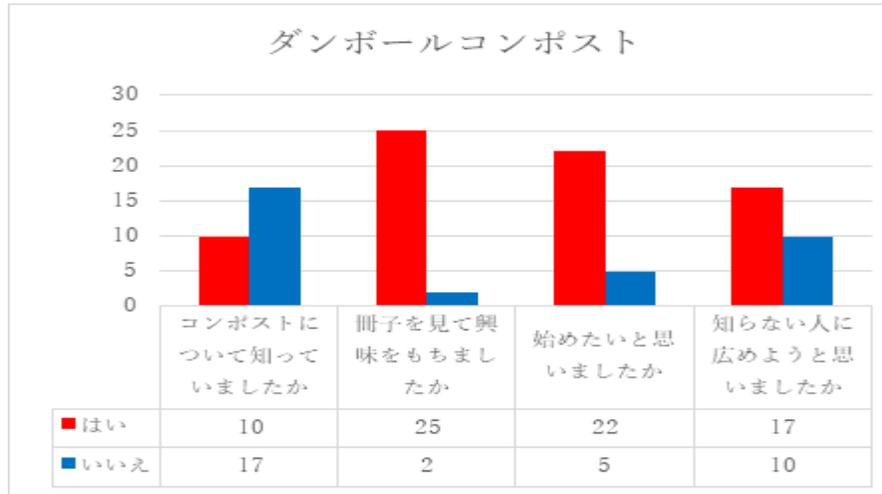
期間 令和3年10月～令和4年1月

場所 協力者の家 学校

# 内容

- ・ダンボールコンポストを作り、実施する。
- ・ダンボールコンポストの始め方や、実施して気づいたことをまとめたパンフレットを作る。
- ・27人にパンフレットを見てもらいアンケートをとる

# 結果



・実施してみて思ったよりも手軽にでき、家庭菜園などに使うことができるので活用性が高かった。

・アンケート結果から始めようと思う人が増え、広めることができることが分かった。アンケートに答えてくれた人は興味を持ってくれていた。

・またアンケートで始めたいと答えた人の人数をパーセンテージにすると80%になり、善通寺市民にあてはめると一日当たり1965g二酸化炭素を減らすことができる。

・善通寺市の市役所に作成したパンフレットをおいてもらうなどして、もっと広めていきたい。

